

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月25日

計画の名称	防災と安全に資する県営都市公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	愛知県												
計画の目標	<p>愛知県は、南海トラフ地震を始めとした様々な自然災害のリスクが想定される一方、人口が集中する大都市地域やものづくりを中心とした産業集積など、社会にとって重要な機能が集中している。大規模災害発生時には、県民の生命や財産を守り、社会経済活動を維持していくことが重要な課題である。都市公園は、良好な都市環境の提供や地域の活性化だけでなく、防災面の機能が大いに期待されている。そこで、広域的な防災活動拠点や避難場所となる県営都市公園の整備を進め、県内の防災機能の強化を推進する。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,595	A	5,095	B	0	C	500	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	8.93	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	防災活動拠点となる県営都市公園の整備率をH27当初の68.4%から75.9%に増加させる。 防災活動拠点となる県営都市公園の整備率 （整備率）＝（評価時点の都市公園の教養面積の和）／（都市公園の都市計画決定面積の和）	68%	69%	76%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	都市公園事業(油ヶ淵水辺公園)(A1-1)	用地買収、公園施設整備A=35.5ha	碧南市・安城市						2,440	-	
	A12-002	公園	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	都市公園事業(小幡緑地)(A1-2)	用地買収、公園施設整備A=117.7ha	名古屋市						1,240	-	
	A12-003	公園	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	都市公園事業(大高緑地)(A1-3)	用地買収、公園施設整備A=116.8ha	名古屋市						420	-	
	A12-004	公園	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	都市公園事業(牧野ヶ池緑地)(A1-4)	用地買収、公園施設整備A=147.6ha	名古屋市						760	-	
	A12-005	公園	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	都市公園事業(愛・地球博記念公園)(緊急点検)(A1-5)	公園施設整備A=194.2ha	長久手市						220	-	
	A12-006	公園	一般	愛知県	直接	愛知県	-	-	都市公園事業(愛・地球博記念公園)(A1-6)	公園施設整備A=194.2ha	長久手市						15	-	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
愛知県 都市・交通局 都市基盤部 公園緑地課において実施	事業完了後
	公表の方法
	愛知県のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	防災活動拠点となる県営都市公園の整備を進め、災害時に活動が可能となる広場、避難路や物資を運ぶルートとなる園路を供用開始し、県内の防災機能の強化を推進した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	広場や園路の整備を推進したことで、平常時に県民が快適に過ごすことができる、緑のオープンスペースを確保した。
特記事項（今後の方針等）	
令和2年度から本整備計画の継続事業として5年間の整備計画を策定し、引き続き県内の防災機能の強化を推進する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	76%
	最終実績値	59%
		当初整備計画策定後に整備率の低い油ヶ淵水辺公園を加えたことにより、整備率の実績値が小さくなった。供用面積としては、5年間で17.8ha増加しており、防災機能の強化を進めている。なお、油ヶ淵水辺公園を除いて整備率を算出すると70.0%となり、やや目標値に届かなかった。